



# 2024年3月期 第3四半期決算補足説明資料

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード：6545>



## 2024年3月期 第3四半期業績

### レコードブック事業

- ✓ 利用者数と店舗数の増加に伴い、直営店の売上高及びフランチャイズ加盟店からのロイヤルティ収入は前年同四半期比で順調に増加
- ✓ FC店について、新規契約の申込は増加傾向に転じるも、物件選定までの期間が当初想定より長引いており前年同四半期比で開業数が減少。物件開発体制を強化し、物件選定の早期化を目指す

### Webソリューション事業

- ✓ 営業活動の強化により、前年同四半期比で売上高、営業利益ともに大幅に増加

### アクティブライフ事業（従来のケアサプライ事業より名称を変更）

- ✓ 既存の福祉用具貸与事業（カンケイ舎、フルケア）は堅調に推移
- ✓ 2022年10月より開始した住宅リフォーム事業（正光技建）の影響で全体の売上高は増加
- ✓ 同事業で課題となっている受注増加、収入源多角化に向けた各種施策を実施し、直近の売上高は増加傾向に。更に資源価格高騰による原価率上昇の改善策を推進し、利益率向上を目指す

### 全体に関わる事項

- ✓ 前期実施した2件のM&A関連費用の負担が当期はないため、前年同四半期比で大きく利益が増加

## 2024年3月期 通期業績見込

- ✓ 各段階利益の進捗率は3Q終了時点で通期見通しを超過するなど順調に進捗し、通期で業績予想を達成見込み **→詳細はP.19～20を参照**
- ✓ 通期業績予想は、直近の業績動向等をふまえ精査中のため据え置き

# 2024年3月期 第3四半期業績

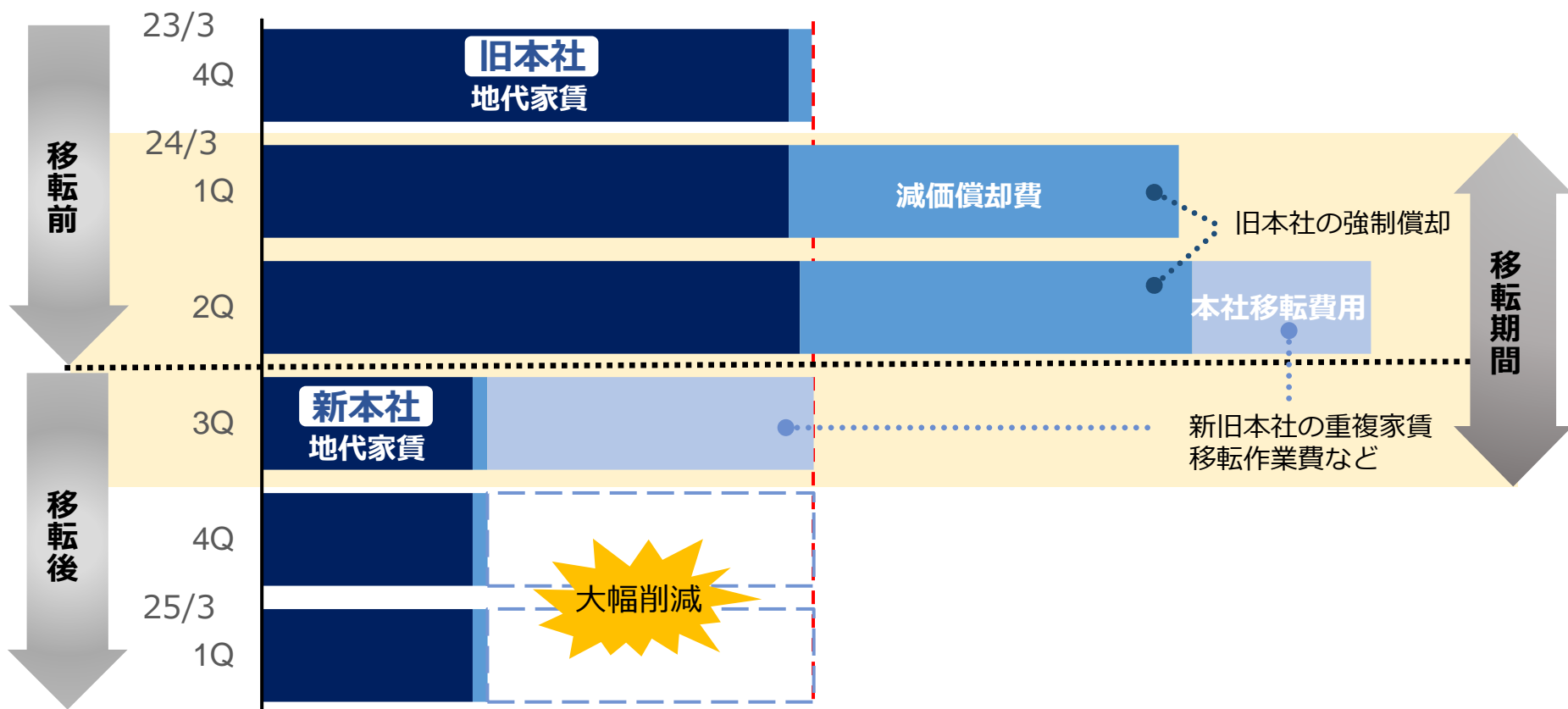
単位：百万円 ( )内は利益率	2023/3期 3Q 実績 <sup>※2</sup>	2024/3期 3Q 実績	増減率	主な増減理由
売上高	3,265	<b>3,725</b>	+14.1%	アクティブライフ+218、在宅サービス+195（施設介護等）、Web+83、レコードブック▲37
営業利益	21 (0.7%)	<b>173</b> (4.6%)	+696.9%	本社+72、在宅サービス+55、Web+29、レコードブック+10、アクティブライフ▲15
経常利益	45 (1.4%)	<b>210</b> (5.7%)	+364.6%	【営業外収益の増加理由】 事業譲渡益+39 助成金収入▲27
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9 (0.3%)	<b>115</b> (3.1%)	+1178.9%	【特別損失の増加理由】 本社移転費用+17
R O E (%) ※1	1.0	<b>11.6</b>		
E P S (円)	1	<b>21</b>		

※1 四半期のROEは年率換算しております

※2 2024年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております

## ■ 本社移転に伴い、上期に一時費用が発生も下期以降は固定費が削減

- ✓ コロナ禍をきっかけに、これからの社会変化に対応し多様な働き方ができるオフィスを実現するため、2023年10月までに当社及び連結子会社カンケイ舎にて本社移転を実施
- ✓ 当第1四半期から第3四半期までは、旧本社での減価償却費や移転作業費等の一時費用が販管費及び特別損失に計上されるが、オフィス面積縮小により第4四半期以降は賃料等の固定費が削減される予定



## 本社移転による影響

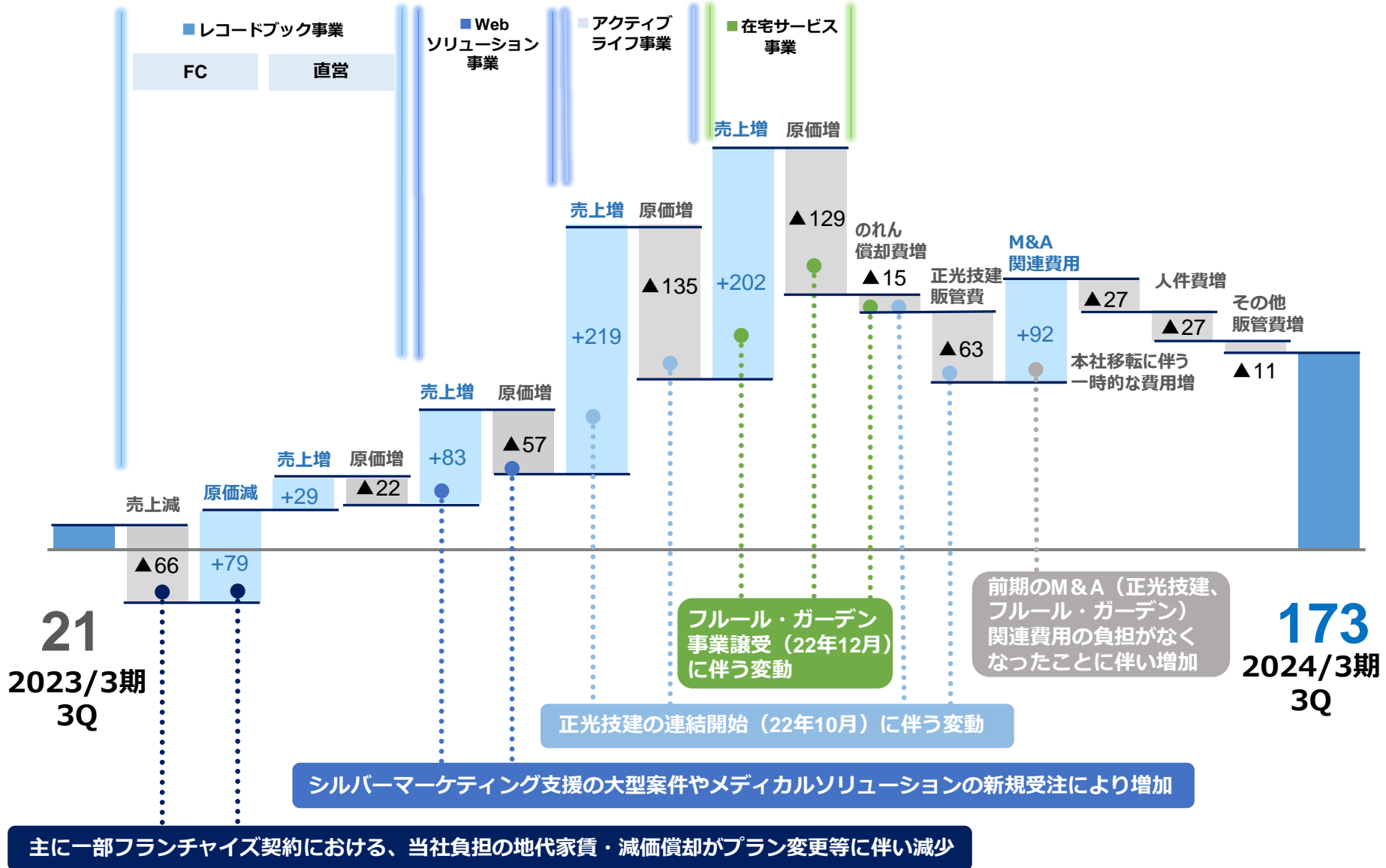
単位：百万円 ( ) 内は利益率	2023/3期 3 Q 実績	2024/3期 3 Q 実績	本社移転の影響を除く ※2 3 Q実績 増減率 (前年同四半期比)	
売上高	3,265	3,725	<b>3,725</b>	<b>+14.1%</b>
営業利益	21 (0.7%)	173 (4.6%)	<b>187</b> (5.0%)	<b>+765.0%</b>
経常利益	45 (1.4%)	210 (5.7%)	<b>243</b> (6.5%)	<b>+436.1%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9 (0.3%)	115 (3.1%)	<b>155</b> (4.2%)	<b>+1620.8%</b>
R O E (%) ※1	1.0	11.6	<b>15.6</b>	
E P S (円)	1	21	<b>29</b>	

※1 四半期のROEは年率換算しております

※2 P.4で記載の減価償却費、地代家賃（販管費）及び本社移転費用（特別損失）を除いております

# 営業利益増減分析

単位：百万円



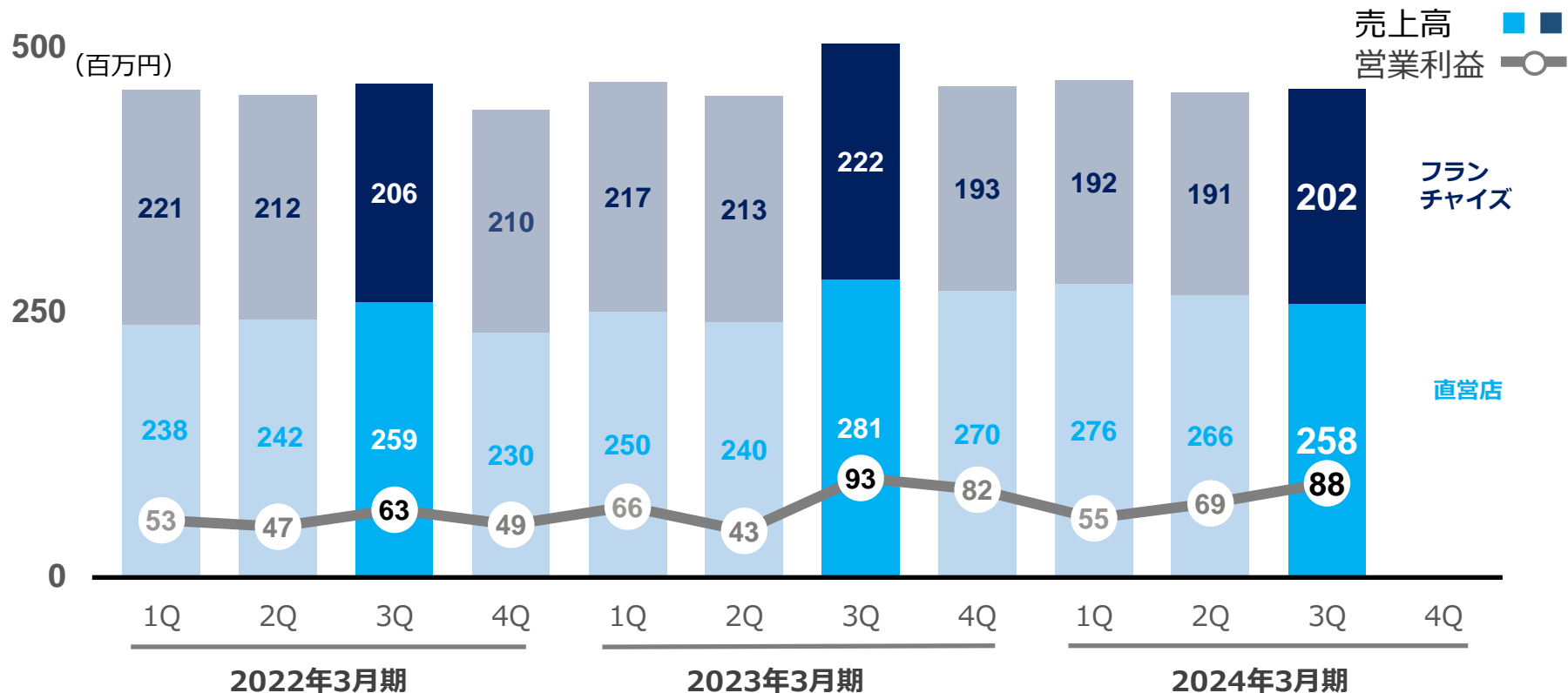
2024年3月期 第3四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)	2023/3期 3Q			2024/3期 3Q			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益※	売上高	営業利益
<b>■ヘルスケアソリューション事業</b>	2,298	70.4%	278	<b>2,562</b>	<b>68.8%</b>	<b>302</b>	+264	+24
<b>レコードブック</b>	1,423	43.6%	202	<b>1,385</b>	<b>37.2%</b>	<b>212</b>	▲37	+10
直営店	771	23.6%	71	<b>800</b>	<b>21.5%</b>	<b>77</b>	+29	+5
FC店	652	20.0%	131	<b>585</b>	<b>15.7%</b>	<b>135</b>	▲66	+4
<b>Webソリューション</b>	158	4.9%	26	<b>242</b>	<b>6.5%</b>	<b>56</b>	+83	+29
シルバーマーケティング	53	1.6%		<b>103</b>	<b>2.8%</b>		+50	
仕事と介護の両立支援	96	3.0%		<b>106</b>	<b>2.8%</b>		+10	
メディカル	9	0.3%		<b>32</b>	<b>0.9%</b>		+23	
<b>アクティブライフ</b>	716	21.9%	49	<b>934</b>	<b>25.1%</b>	<b>33</b>	+218	▲15
<b>■在宅サービス事業</b>	966	29.6%	215	<b>1,162</b>	<b>31.2%</b>	<b>270</b>	+195	+54
通所介護	311	9.6%	53	<b>350</b>	<b>9.4%</b>	<b>94</b>	+38	+40
訪問介護	369	11.3%	100	<b>369</b>	<b>9.9%</b>	<b>112</b>	+0	+12
居宅介護支援	263	8.1%	60	<b>259</b>	<b>7.0%</b>	<b>65</b>	▲3	+5
施設介護	21	0.7%	1	<b>182</b>	<b>4.9%</b>	<b>▲2</b>	+161	▲3
<b>調整額</b>	-	-	▲472	-	-	▲400	-	+72
<b>合計</b>	3,265	100.0%	21	<b>3,725</b>	<b>100.0%</b>	<b>173</b>	+459	+151

※当四半期の営業利益には、各セグメントに本社移転に伴う一時的な費用（合計▲27百万円）が配賦されております



売上高 1,385百万円（前期比▲2.6%） 営業利益 212百万円（同+5.0%）

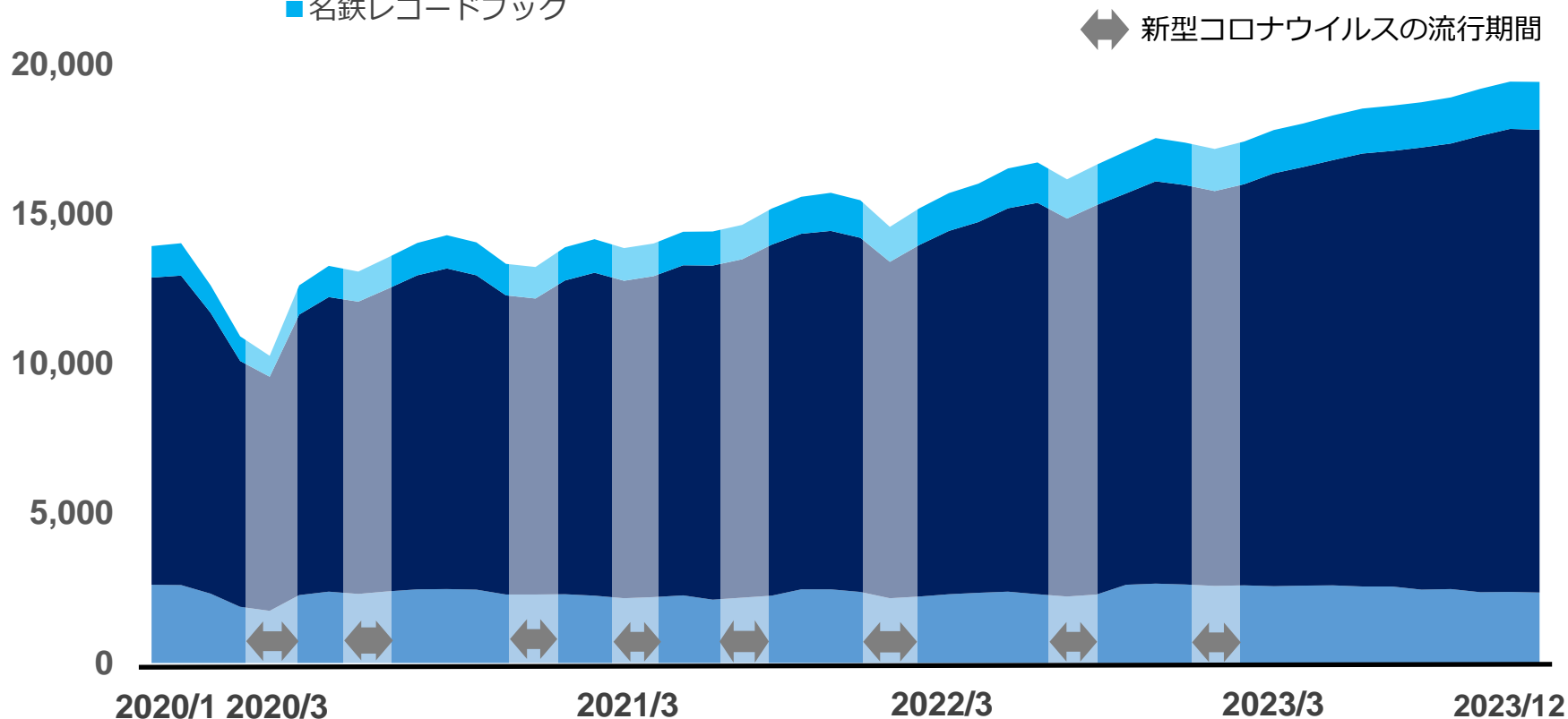


### 利用者数回復に伴い前年同四半期比で営業利益が増加、新規出店に伴う初期費用売上は減少

- ✓ 直営店はFC化、閉店による店舗の減少に伴い、売上高は前年同四半期比で減少
- ✓ 利用者数増加等により、FC店からのロイヤルティ収入は前年同四半期比で増加  
当社が設備投資を行い転貸している契約の期間満了に伴うプラン変更の増加により、当社負担の地代家賃・減価償却費等の原価と同額の売上高（約37百万円）がともに減少

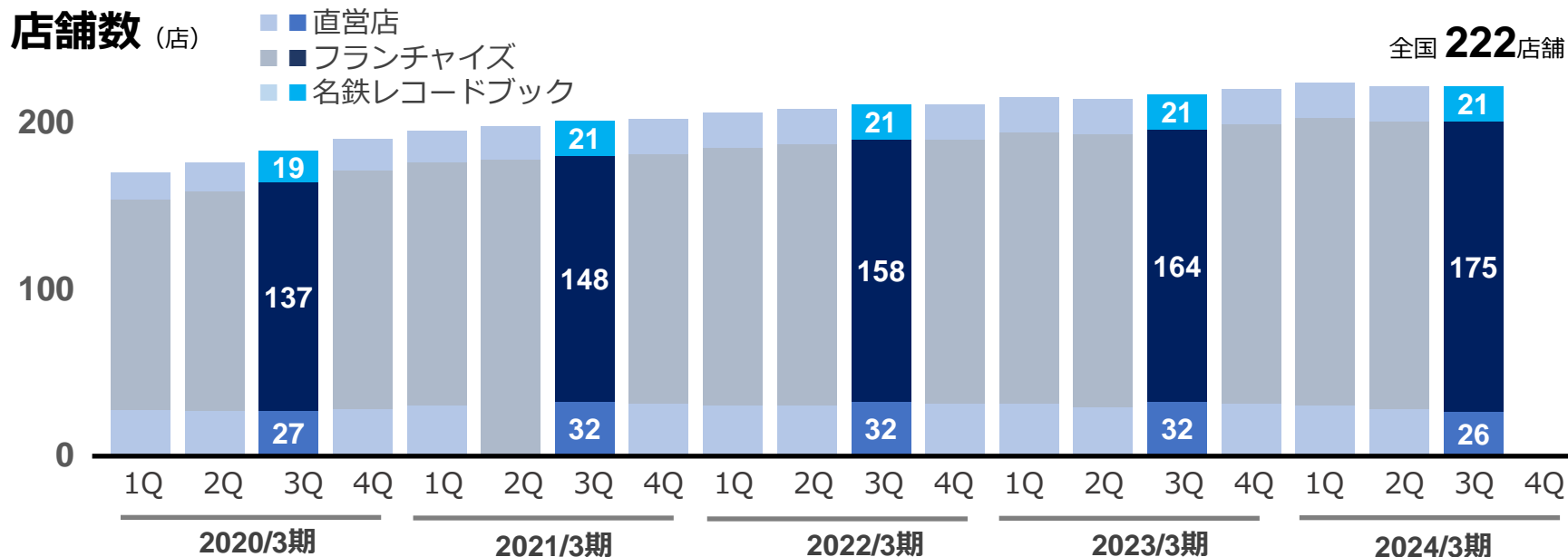
## 利用者数 (人)

- 直営店
- フランチャイズ
- 名鉄レコードブック



### ■ 稼働率の上昇に伴い、総利用者数は過去最高を更新

- ✓ 直営、フランチャイズともに既存店の利用者数が順調に増加し、11月の総利用者数は過去最高を更新
- ✓ 同一のオーナーによる増店の場合、開業初月から稼働率が好調に推移
- ✓ 23年12月には、レコードブックブランドの認知度拡大を図るため、TVCMの放映を一部地域で試行  
⇒[プレスリリース](#)



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
新規	13	8	9	8	9	3	4	2	4	3	3	0	5	3	4	4	5	1	2	
閉店	0	2	2	1	4	0	1	1	0	1	0	0	1	4	2	0	1	3	2	
店舗計	170	176	183	190	195	198	201	202	206	208	211	211	215	214	217	220	224	222	222	
FC化	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	
直営化	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	2	0	0	1	3	0	0	0	0	

## ■ 前年同四半期比で出店数は減少。物件開発体制を強化し出店数の増加を目指す

- ✓ 社会経済活動の正常化に伴い、新規契約の申込件数は増加傾向
- ✓ 一時的な物件需要の高まりにより、物件選定までの期間が当初想定より長引いている結果、新規出店数は前年同四半期比で減少。物件開発体制を強化し、物件選定の早期化を目指す
- ✓ 新規出店の5店舗前後が翌第1四半期にずれ込む見込みのため、当期の出店数合計は12店舗の見通し

売上高 242百万円（前期比+52.5%）

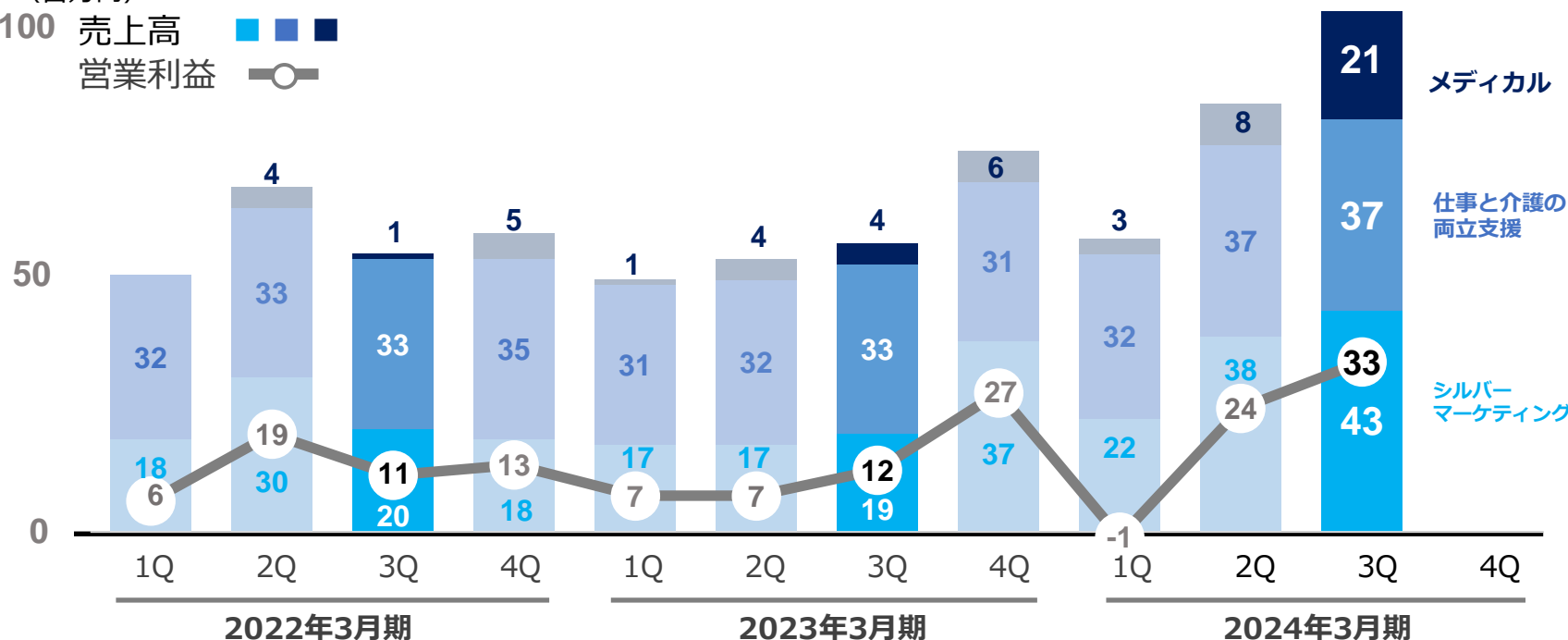
営業利益 56百万円（同+111.2%）

（百万円）

100 売上高



営業利益



■ シルバーマーケティング支援で大型案件を獲得。前年同四半期比で増収増益

- ✓ シルバーマーケティング支援では、従来のプロモーション支援やマーケティングリサーチに加え、コンサルティングなどの上流工程から関わることにより売上が拡大
- ✓ 仕事と介護の両立支援においては、将来的にさらに従業員のニーズが高まることをアピールし、改めて顧客からの高い評価を受け、契約継続率も上昇傾向

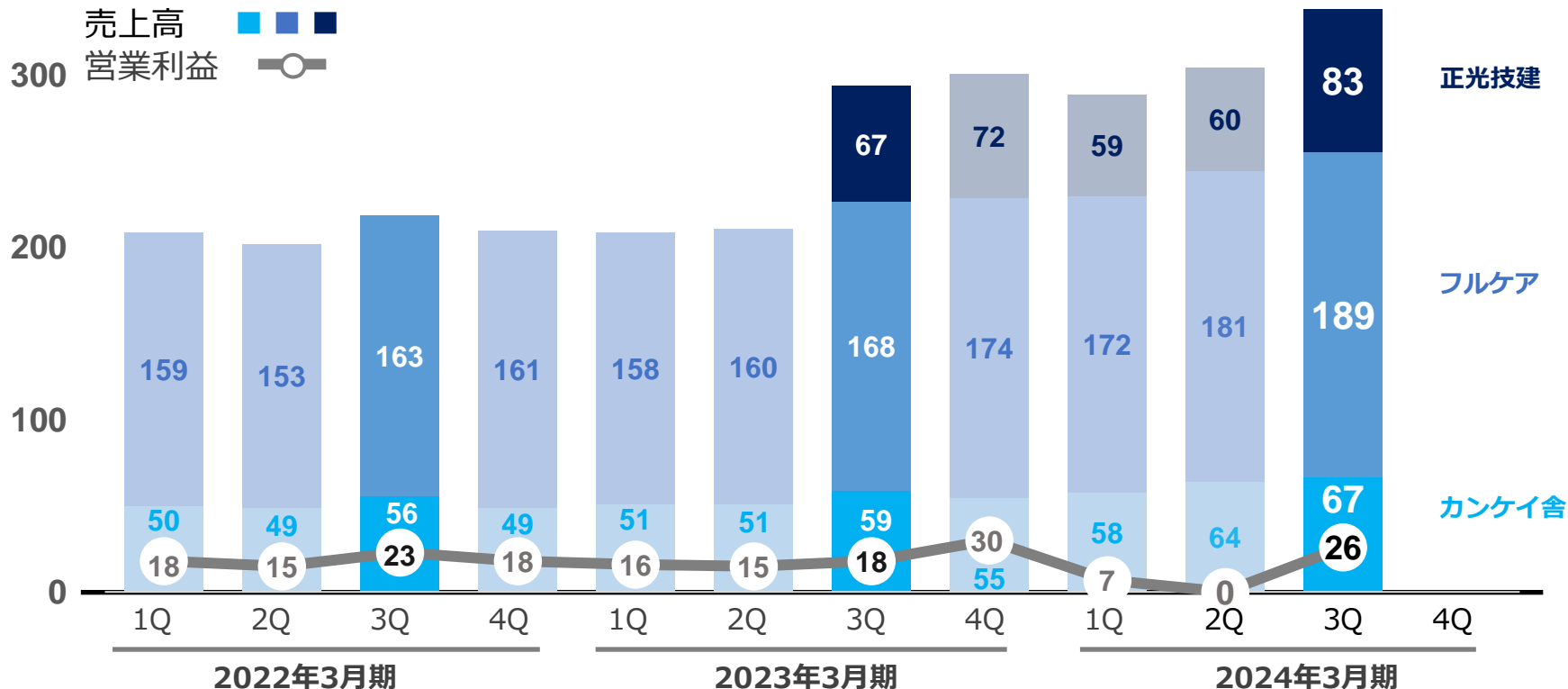
仕事と介護の両立支援 当期のサービス提供開始企業

日立グループ計38社、(株)エレケア、丸三証券(株)

売上高 934百万円（前期比+30.5%）

営業利益 33百万円（同▲31.5%）

（百万円）

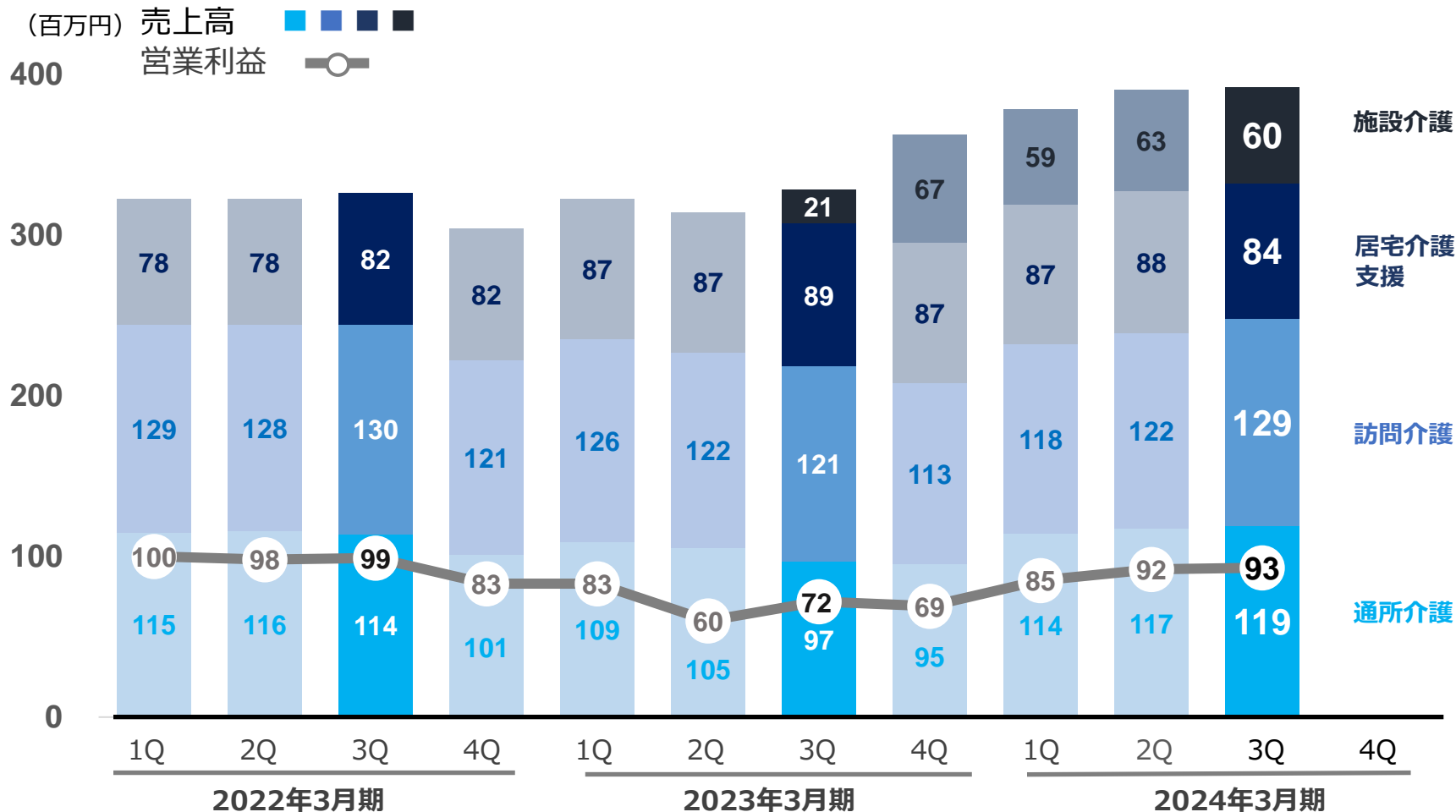


■ 既存の福祉用具貸与は堅調に推移するも住宅リフォーム事業が低迷し、営業利益は減少

- ✓ 既存の福祉用具貸与事業（カンケイ舎、フルケア）は堅調に推移
- ✓ 2022年10月の正光技建の連結により、住宅リフォーム事業の売上高が増加
- ✓ 同事業は、課題となっている受注増加、収入源多角化に向けて、人員配置の最適化や新たな施策を推進し、前四半期（23年7月～9月）比では売上高は増加傾向に。引き続き、資源価格高騰による原価率上昇の改善策として仕入先の見直し等を推進し、粗利率向上を目指す

売上高 1,162百万円 (前期比+20.2%)

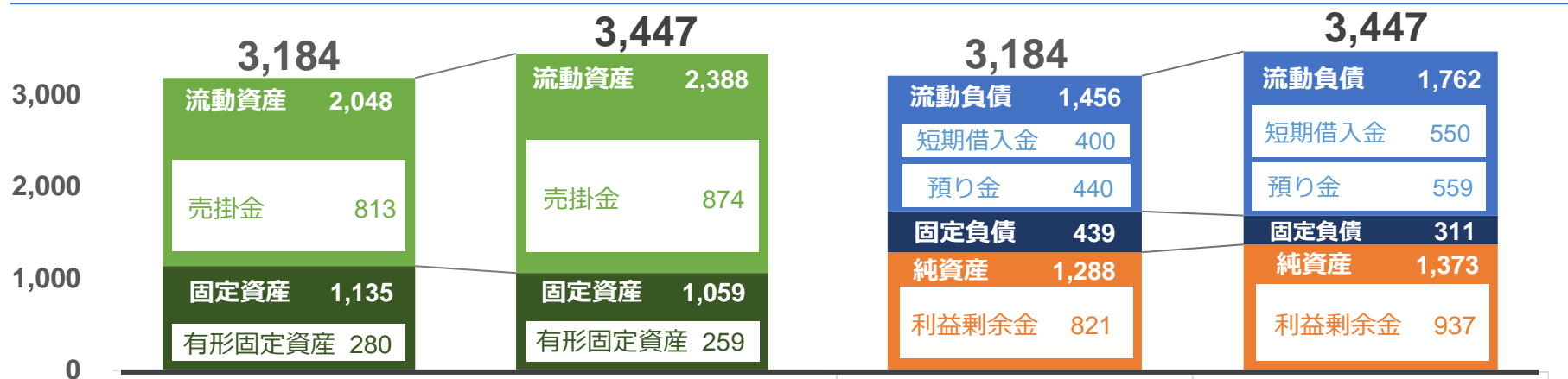
営業利益 270百万円 (同+25.5%)



■ 課題であった介護人材の確保を目的に人事制度改革を推進し、人員体制を強化

- ✓ 通所介護事業は看護職員の増員で新規加算を取得し、前年同四半期比で売上高が増加
- ✓ 訪問介護事業はより単価の高いサービスの提供数が増えたことにより売上高は増加基調で推移

2024年3月期 第3四半期 連結貸借対照表



(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期3Q	増減額
<b>流動資産</b>	<b>2,048</b>	<b>2,388</b>	<b>+340</b>
現金・預金	1,107	1,328	+220 ①
売掛金	813	874	+61 ②
その他	128	185	+57
<b>固定資産</b>	<b>1,135</b>	<b>1,059</b>	<b>▲76</b>
有形固定資産	280	259	▲21
無形固定資産	472	437	▲35
投資その他資産	383	362	▲20
<b>資産合計</b>	<b>3,184</b>	<b>3,447</b>	<b>+263</b>

- ① 当面の資金需要に備え調達
- ② 主にレコードブックの利用者数回復に伴う増加
- ③ 自己株式取得 (23年5月) 及び処分 (23年7月) による変動

	2023/3期	2024/3期3Q	増減額
<b>流動負債</b>	<b>1,456</b>	<b>1,762</b>	<b>+305</b>
短期借入金	400	550	+150 ①
預り金	440	559	+118 ②
その他	616	653	+37
<b>固定負債</b>	<b>439</b>	<b>311</b>	<b>▲127</b>
長期借入金	307	196	▲111
その他	131	115	▲16
<b>純資産合計</b>	<b>1,288</b>	<b>1,373</b>	<b>+85</b>
資本金	252	252	-
資本剰余金	237	239	+2
利益剰余金	821	937	+115
自己株式	▲23	▲56	▲32 ③
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,184</b>	<b>3,447</b>	<b>+263</b>

※ 2024年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております

# 2024年3月期 通期業績見通し



## 3Q終了時点で進捗率は順調に推移しているため通期予想は達成の見通し 通期業績予想は直近の業績動向等をふまえ精査中のため据え置き

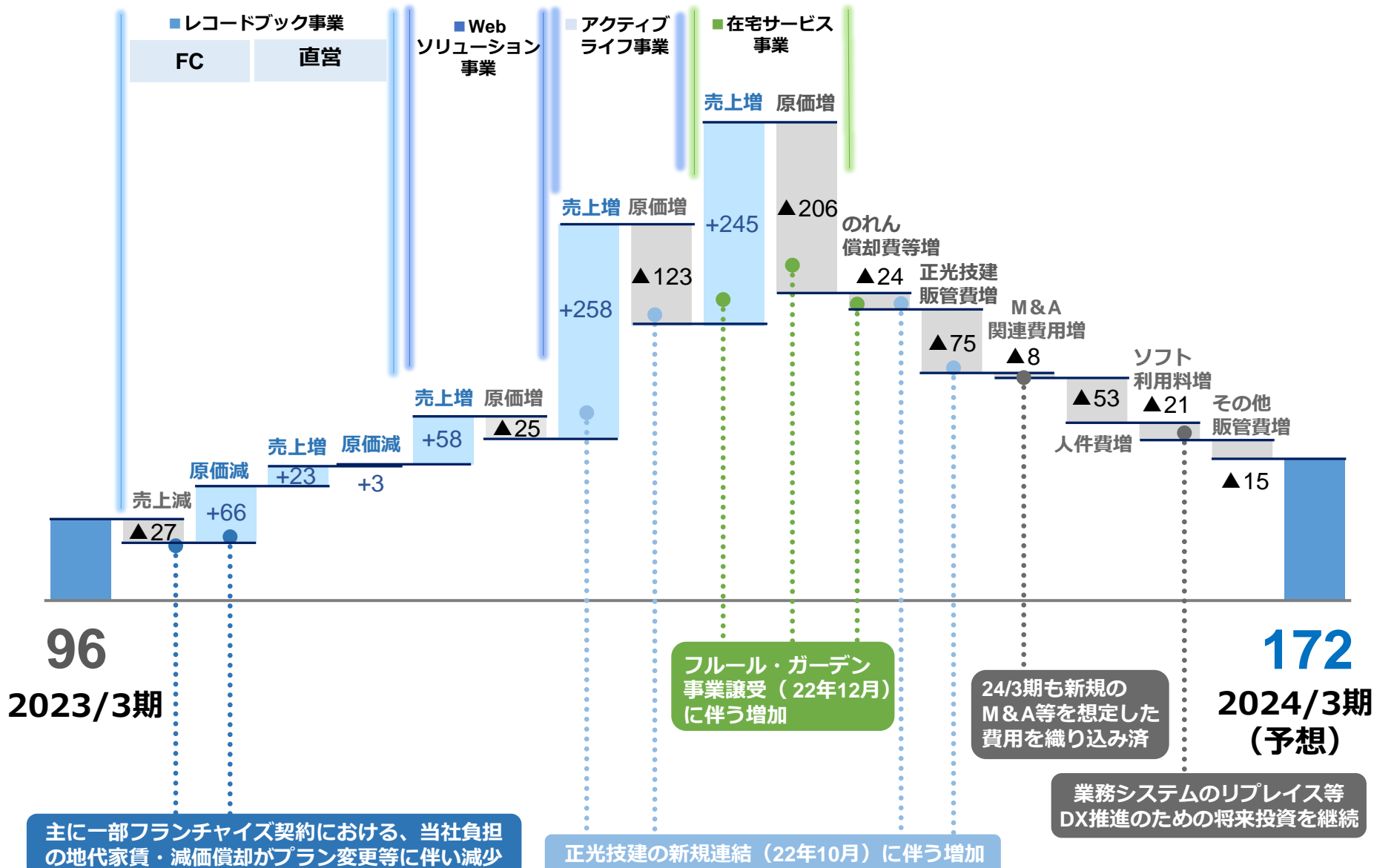
単位：百万円 ( )内は利益率	2023/3期 通期実績 ※1	2024/3期 通期予想	前期比 増減率	2024/3期 3Q実績	通期予想比 進捗率
売上高	4,464	5,022	+12.5%	3,725	+74.2%
営業利益	96 (2.2%)	172 (3.4%)	+79.6%	173 (4.6%)	+100.4%
経常利益	146 (3.3%)	160 (3.2%)	+9.7%	210 (5.7%)	+131.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	33 (0.8%)	106 (2.1%)	+213.6%	115 (3.1%)	+109.3%
ROE (%)	2.7	7.9		11.6	
EPS (円) ※2	6	20		21	

※1 2024年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております

※2 通期予想のEPSは当四半期における自己株式の取得及び処分による影響を考慮しております

# 営業利益見通し増減分析

単位：百万円



※企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を2023年3月期の営業利益に反映したこと等に伴い、増減額の内訳を一部調整しております。

## 2024年3月期 セグメント別業績見通し

(単位：百万円)	2023/3期実績			2024/3期見込			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
<b>■ヘルスケアソリューション事業</b>	3,136	70.3%	417	<b>3,449</b>	<b>68.7%</b>	<b>509</b>	+312	+92
<b>レコードブック</b>	1,887	42.3%	284	<b>1,883</b>	<b>37.5%</b>	<b>360</b>	▲3	+76
直営店	1,041	23.3%	117	<b>1,063</b>	<b>21.2%</b>	※105	+21	▲12
FC店	845	18.9%	167	<b>820</b>	<b>16.3%</b>	<b>254</b>	▲24	+87
<b>Webソリューション</b>	233	5.2%	53	<b>291</b>	<b>5.8%</b>	<b>57</b>	+58	+3
シルバーマーケティング	90	2.0%		<b>104</b>	<b>2.1%</b>		+14	
仕事と介護の両立支援	127	2.9%		<b>133</b>	<b>2.6%</b>		+5	
メディカル	15	0.3%		<b>54</b>	<b>1.1%</b>		+38	
<b>アクティブライフ</b>	1,015	22.8%	79	<b>1,274</b>	<b>25.4%</b>	※91	+258	+12
<b>■在宅サービス事業</b>	1,327	29.7%	282	<b>1,573</b>	<b>31.3%</b>	<b>355</b>	+245	+73
通所介護	406	9.1%	63	<b>442</b>	<b>8.8%</b>	<b>94</b>	+35	+31
訪問介護	482	10.8%	132	<b>503</b>	<b>10.0%</b>	<b>149</b>	+21	+17
居宅介護支援	350	7.8%	85	<b>362</b>	<b>7.2%</b>	<b>93</b>	+12	+7
施設介護	88	2.0%	0	<b>264</b>	<b>5.3%</b>	※17	+176	+17
<b>調整額</b>	—	—	▲603	—	—	※▲692	—	▲89
<b>合計</b>	4,464	100.0%	96	<b>5,022</b>	<b>100.0%</b>	<b>172</b>	+558	+73

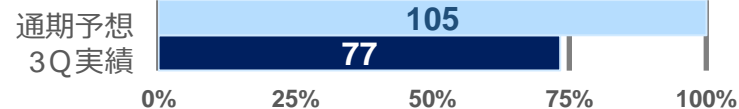
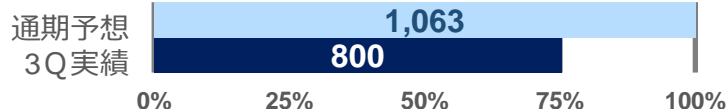
※2023年5月15日公表のセグメント別業績見通し資料より、以下の理由により営業利益のセグメント間の内訳を一部修正しております。  
 ・実績と同様の条件にするため、前回公表時、調整額に含めていたのれん償却費を、主にアクティブライフ事業に変更しております。  
 ・2024年3月期第2四半期における企業結合に係る暫定的な会計処理の確定等に伴い、施設介護事業及び調整額の営業利益を調整しております。  
 なお、営業利益の合計額に変更はありません。

(単位：百万円)

売上高

営業利益

レコードブック  
(直営店)

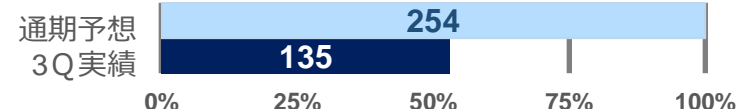
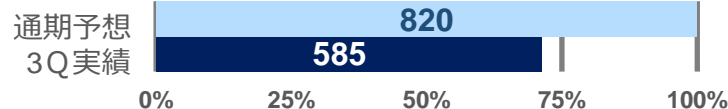


通期見通し

売上高はやや下回り、営業利益は概ね計画通りとなる見込み

- ✓ 直営店→FC店への転換時期が当初計画より早まったため、売上高はやや下回り、利益は概ね計画通りとなる見込み

レコードブック  
(FC店)



通期見通し

売上高・営業利益ともにやや下回る見込み

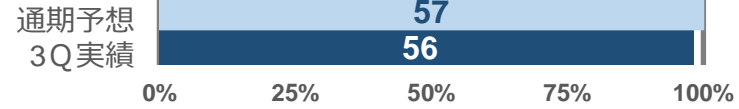
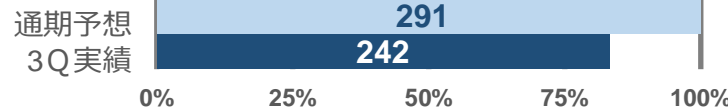
(既存加盟店)

- ✓ 当社が設備投資を行い転貸している契約のプラン変更が早期に進んでいる結果、利益に影響のない地代家賃等の売上と原価が当初計画よりも早く減少しているため、売上高は予想に未達の見込み
- ✓ ロイヤルティ売上は計画通り推移。営業利益は達成の見通し

(加盟店開発)

- ✓ 売上高、営業利益ともに下回る見込み
- ✓ 新規契約の申込はコロナ禍が明けて増加傾向に。一時的な物件需要の高まりにより、新店舗の物件選定期間が当初想定より長引いており、3Qより物件調査に注力するための体制強化を実施
- ✓ 新規出店予定の5店舗前後が翌期にずれ込む見込みのため、当期の出店数合計は12店舗の見通し

Web  
ソリューション



通期見通し

売上高・営業利益ともに上回る見込み

- ✓ 3Q累計で当初計画を上回る。引き続き4Qも好調に推移する見込み

(単位：百万円)

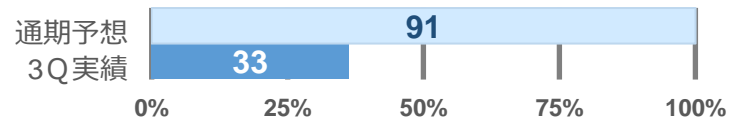
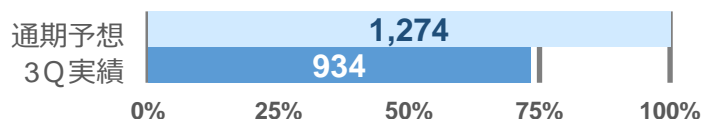
売上高

営業利益

アクティブ  
ライフ



通期見通し



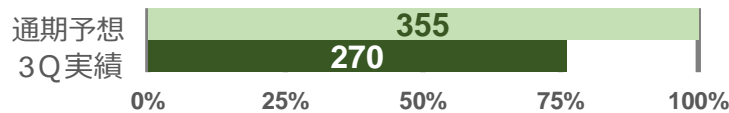
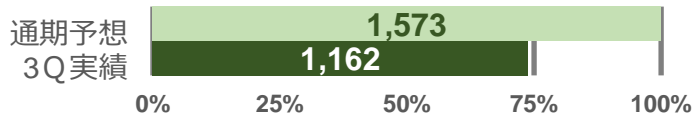
売上高・営業利益ともに下回る見込み

- ✓ 既存の福祉用具事業（カンケイ舎、フルケアが運営）は堅調に推移
- ✓ 新規連結した正光技建（住宅リフォーム事業）の売上高が当初計画を下回り推移
- ✓ 同事業は旧来の訪問営業中心から、営業活動の多角化を推進し、3Qでは紹介サイト経由等の新規受注数が増加し売上が回復傾向も、季節変動要因等もあるため通期では計画に未達の見通し

在宅サービス



通期見通し



売上高はやや下回り、営業利益はやや上回る見込み

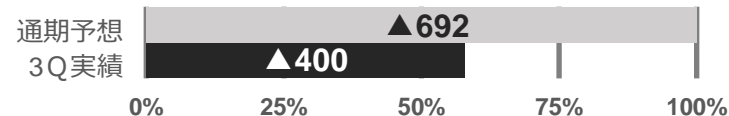
- ✓ 訪問介護事業は単価の高いサービスの提供数が増加し売上高は増加基調で推移。居宅介護事業とともに採用数を増やし、更なる売上増加を目指す
- ✓ 通所介護事業は、看護職員の増員による機能訓練加算の取得に伴い単価が上昇。前年同期比・計画比ともに好調に推移
- ✓ 施設介護事業は当四半期までに入居者退去が重なり当初計画をやや未達。退去時に早期に空室を埋めるための施策を推進し、常に満床に近い入居率の維持を目指す

本社

(本社管理部門等の販管費)



通期見通し



営業利益は上回る（費用が想定を下回る）見込み

- ✓ 本社移転に係る原状回復費用が当初計画を下回ったこと等により、本社の販管費全体は通期でも当初計画より減少する見込み

## 成長投資と株主還元の両立を図りつつ資本効率の向上を目指す方針のもと 2024年3月期期末からの配当開始を予定

### ■ 利益配分に関する基本方針

- ✓ 資本の健全性や成長投資とのバランスを検討した上で、配当を基本として株主還元を実施
- ✓ 利益成長を通じ、1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を目指し、配当性向20%を目標

### ■ 2024年3月期配当予想について

- ✓ 上記の基本方針を踏まえ、2024年3月期期末より配当実施予定（初配）

基 準 日	2024年3月31日
1株当たり配当金	4.0円
配当金総額	21百万円
配当性向	20.4%
配当原資	利益剰余金

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部  
Email: [ir@iif.jp](mailto:ir@iif.jp)